石原伸晃氏の「エイリアン」発言

腹部に開けた穴に栄養剤を送り込む「胃ろう」措置を受けた患者を「エイリアン」に例えた自民党の石原伸晃幹事長に対し、小宮山洋子厚生労働相は７日、閣議後の会見で「病気の方、ご家族に不快な思いをさせる言葉の使い方は慎重であってほしい」と批判した。胃ろうは口から食事を取ることが困難な高齢者や重症の患者に対して行われる人工栄養法。小宮山氏は、０８年に亡くなった父、加藤一郎元東大学長が、最後の１年間、胃ろう措置を受けていたことを明かし、「胃ろうのおかげで命をつなぐ患者さんがたくさんいる」と強調。ほかの閣僚や各党幹部からも批判が相次ぎ、志位和夫共産党委員長は「極めて心無い発言」と指摘した。

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com